

東海学院大学・東海学院大学短期大学部募金趣意書

東海学院大学・東海学院大学短期大学部は、昭和38年に岐阜県で初の私立女子短期大学として開学以来、59年の歴史を重ねてきました。創立者の神谷一三、神谷みゆ子夫妻の生涯を通じての教育理念であった「女子の高等教育の隆盛」、「女子の経済的自立」、「女子の国際感覚の養成」は、平成19年、20年の両大学の共学化以降も、「広く知識を授け専門の学術に関する教授研究教育を行うことにより、専門的知識技能を習得させ、国際的視野を備えた社会性および創造性と行動力豊かな人材を育成することを目的とする」という本学の建学の精神の中に生き続け、実践力、人間力を備え、地域社会に貢献しうる人材を育ててきています。

現在の東海学院大学・東海学院大学短期大学部は、平成20年の共学化と改組転換により、短期大学部は幼児教育学科の1学科となりましたが、昭和38年に第一回生32名で開学して以来、「東海の乙女心」や「自立と優しさに満ちた学生の集う学び舎」という女子教育ならではの校風が、今日の在學生に脈々と受け継がれてきています。また、東海学院大学は、令和4年現在、子ども発達学科、心理学科の2学科から成る人間関係学部、管理栄養学科、総合福祉学科の2学科から成る健康福祉学部の2学部4学科、および大学院人間関係学研究科の構成となっており、両大学合わせた教職員は131名、大学院生20名、学部学生1218名、短期大学部生161名の高等教育組織であります。この「人間を心とからだの両面から科学的に研究する」という学部学科構成の教育研究内容から、平成26年には、「チーム医療」の中で重要な役割を果たす管理栄養士、臨床検査技士、臨床工学技士、言語聴覚士、救急救命士、といった専門資格の養成課程を新たに設置する、現代社会に貢献できる大学としての存在感を一層高めるための努力と研鑽を重ねていきたいとの願いのもと、日々の大学運営が行われています。

しかし、急速な少子化と東海圏域における同様の教育課程を持つ他大学との大競合により入学者の定員確保は厳しさが増すことが予想され、このため、財政面において経費の削減、業務の合理化など自助努力を懸命に続けてきておりますが、最新設備の導入、老朽化した校舎の建替、修理のための設備投資など多くの資金を必要とする状況になっております。

このような中、大学として教育研究の強化と充実を主とした目的として①学生支援、②教育研究活動支援、③地域貢献活動支援、④キャンパス環境整備を展開してまいります。これらの事業を推進することで本学が地域に貢献できる大学として社会的使命を実現し、経営基盤を強化するために財政的なご支援のお願いをさせていただきますことといたしました。

つきましては、3万人余りの卒業生の皆様、在校、在學生ご父兄の方々のみならず、広く社会一般の皆様には、何とぞこの趣旨にご賛同いただき、格別のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

ご支援についての連絡先：東海学院大学・東海学院大学短期大学部 総務部総務課

TEL058-389-2200

FAX058-389-2205